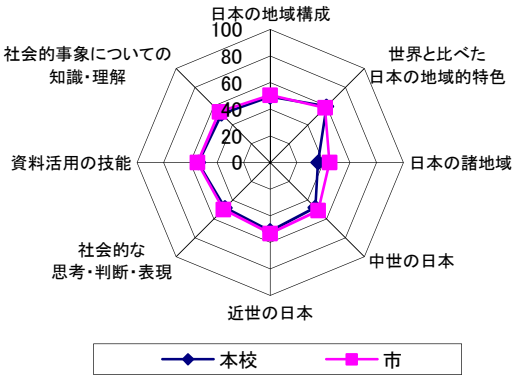


宇都宮市立陽南中学校 第2学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	日本の地域構成	49.4	50.7
	世界と比べた日本の地域的特色	59.8	58.2
	日本の諸地域	35.9	44.6
	中世の日本	47.9	51.0
	近世の日本	51.5	53.3
観点別	社会的な思考・判断・表現	48.1	49.8
	資料活用 of 技能	54.0	54.7
	社会的事象についての知識・理解	51.7	53.9



★指導の工夫と改善

領域		本年度の状況	今後の指導の重点
地 理	日本の地域構成	数力国の領土の面積、領海と経済水域の面積のグラフから、日本を選択させる問題において、正答率が低くなっている。また、全国平均と比較すると、都道府県の位置と名称を答える問題の正答率が低くなっている。	<p>調査の結果から、グラフの読み取りに関する問題や授業で重点的に取り上げた内容(過疎問題など)については、正答率が高くなっており、授業において継続的に粘り強く取り組んできた成果が表れているといえる。その一方で、日本の面積、都道府県の位置と名称、各国の人口密度、基礎的用語を答える問題の正答率が低く、基礎的な知識や技能の定着が不十分であることがわかる。</p> <p>今後は、現在重視している内容を継続していくとともに、小テスト等によって基礎的知識・技能を定着させていく必要がある。</p>
	世界と比べた日本の地域的特色	【世界と比べた日本の人口】 過疎に関する問題において正答率が高くなっている一方で、人口密度の高い国を選択する問題の正答率が低くなっている。	
	日本の諸地域	【世界と比べた日本の地域間の結びつき】 図表やグラフの読み取りが中心の大問であるが、すべての問題で市・全国平均を上回って、「カルデラ」と用語を答えさせる問題の正答率が著しく低い。また、沖縄の家屋の写真を見て関連する図表を選択する問題の正答率が低くなっている。	
歴 史	中世の日本	足利義満が行った日明貿易の内容を選択する問題の正答率が低くなっている。	<p>授業で重点的に取り上げた資料(百姓一揆と打ちこわしの発生件数)の読み取りについては正答率が高い。その一方で、語句の意味を答えさせたり、習得した知識・技能をを活用する問題において正答率が低い。</p> <p>今後は、授業等において、用語そのものを確実に覚えさせるとともに、覚えた用語が歴史の流れの中でどのような意味をもつかを考えさせていくよう指導していきたい。</p>
	近世の日本	武家諸法度など、基礎的用語を答える問題において正答率が低くなっている。	